

灯 具 清 掃 マ ニ ュ ア ル

作業開始前

- ・ 作業者全員で管理員に挨拶（無人物件は除く）
- ・ 駐車位置の確認、ラミネートの掲示（物件内に駐車できない場合は近くのコインパークに駐車する）
- ・ ビラの確認（作業日、時間等）
- ・ 安全ミーティング・ ・ 危険箇所や作業上の注意点、作業内容の確認など

作業準備

- ・ 作業に必要な道具の準備（脚立、ドライバー等作業に必要な道具）
 - ・ 点灯確認（作業範囲と破損の有無、管球劣化の確認）
 - ・ 確認後消灯
- ※カバーが破損している灯具は報告し、清掃は実施しない（破損箇所拡大防止）

作業開始

□カバー無しの灯具（蛍光灯）

- ・ 脚立を立てる位置の確認（脚立使用中に転落等の危険が無いが、通行人の邪魔にならないか）
- ・ 器具本体の破損の有無の確認
- ・ 管球を外し、管球、器具本体を拭く
- ・ 管球取付け拭き残しが無いが、管球が落下しないか確認を行う

（ダウンライト）

- ・ 脚立を立てる位置の確認（脚立使用中に転落等の危険が無いが、通行人の邪魔にならないか）
 - ・ 電球を外し拭く（熱を持った電球に濡れたウエスを付けると割れるので乾いたウエスで緩め冷えた後拭く）
 - ・ 反射板を拭きあげる（汚れが残らないようにする、キズ防止の為スコッチ使用禁止）
 - ・ 電球を取付け拭き残しが無いが、電球が落下しないか確認する
- ※電球が蛍光灯の場合はソケット（プラスチック製）が劣化している事が多いので硬い場合は外さず清掃行う（破損防止）
- ※カバー付きのダウンライトはカバーを外した後は同様に清掃を行う

□ カバー付きの灯具

- ・ 脚立を立てる位置の確認（脚立使用中に転落等の危険が無いが、通行人の邪魔にならないか）
- ・ カバー、本体の破損の有無の確認
- ・ カバーを外し、中のゴミを除去し、カバーの内外、器具本体、管球を拭く汚れが落ちない場合は、目の細かいスコッチで洗浄する
- ・ 管球を取付け落下しないか確認を行う
- ・ カバー取付け拭き残しが無いが、落下しないか確認を行う

□シャンデリア

- ・脚立を立てる位置の確認（脚立使用中に転落等の危険が無いが、通行人の邪魔にならないか）
- ・ガラス玉、ガラス棒、器具本体の破損の有無の確認し取外せるものは外す
- ・ガラス玉、ガラス棒を1個ずつ拭く（晒し布使用）管球、反射板を拭く
- ・ガラス玉、ガラス棒の取付け拭き残しや拭きムラが無いが、ガラス玉ガラス棒が落下しないか確認を行う

作業終了後

- ・作業で汚した箇所の清掃（床に落ちた虫や埃など）
- ・点灯確認（作業後に点灯しなくなった灯具が無いが、カバーの取り付け状況の確認）※チェックは管理員と一緒にを行う
- ・スイッチの確認（自動になっているか）
- ・チェック表に漏れは無いが確認後、現場を離れる

※ 不具合箇所は管理員にすぐに報告すること、無人物件では上司に報告して、写真を撮ること（破損させた場合も同様）

すみき～る株式会社